

都市再生整備計画(第5回変更)

日立駅周辺地区

茨城県 日立市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	日立市	地区名	日立駅周辺地区	面積	22.5 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

大目標: 都市拠点性の強化と交流人口を拡大し都市の活力を高める。

目標1: 日立駅東西の一体化を図り都市拠点としての魅力を高める。

目標2: 交通結節点及び交流起点としての機能強化を図る。

目標3: まちの顔(玄関口)としてのイメージ向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・日立駅周辺地区は、工業都市として発展してきた経過の中で、茨城県北部の都市拠点としての役割を担ってきた。
- ・昭和から平成にかけては、都市拠点性の更なる強化を目的に、商業・業務・文化・情報・福祉などの多様な機能を集積させた日立駅前開発整備事業を行ったが、バリアフリー化に対応した日立駅舎改築等をはじめとした交通結節点としての基盤整備が課題として残されている。
- ・本地区を含む中心市街地は、都市機能の郊外化などにより居住人口の減少や商業の衰退などが進んでおり、日立市中心市街地活性化基本計画において、交流促進を図るために交通基盤とまちの顔づくりの整備に取り組む方針を示している。
- ・本地区の海側には、平成19年度に国道6号日立バイパスが開通し、日立市北部と日立駅周辺地区のアクセス利便性が向上することから、民間の土地利用の転換に期待が持たれている。
- ・本地区における事業の具体化に向けては、都市拠点性の強化と交流人口の拡大を図ることを目標に「日立駅周辺地区整備構想」(H16)を策定し、その重点事業として都市基盤の整備を優先的に進めることとしている。都市再生整備計画は、事業推進のために重点事業を位置づけたものである。
- ・構想策定及び事業化に向けては、アンケート調査、広報誌等での情報提供と意見募集、地元等への説明会などで多くの意見を聴くとともに、市民参加等の委員会方式を取り入れている。

課題

広域的な連携と都市間競争の時代において、都市拠点性の強化と交流人口の拡大を図るためには、交通結節点及び交流起点としての機能強化とまちの顔(玄関口)としての魅力向上が緊急の課題である。

○日立駅東西の一体化と都市拠点としての魅力

- ・日立駅前開発整備事業により高めてきた都市拠点性の更なる強化を図るためには、日立駅東西地区において、魅力ある都市機能の集積を図り、都市拠点としてのコアの拡大を図っていくことが課題となっている。そのためには、多くの人々が行き交う駅が持つポテンシャルや日立駅西側の賑わいと東側の海との近接性など、駅を中心として東西の魅力ある地区特性を融合させた市街地整備が必要である。

○交流結節点・交流起点の機能

- ・昭和27年の整備以来今日に至る日立駅舎は、バリアフリー化及び改札とホームとの長い移動距離の短縮が課題であり、多くの市民からその対応を求められている。
- ・国道6号日立バイパスが平成19年度に開通の見通しとなり、日立市北部と日立駅東口を結ぶ交通量が増えることが予想され、その対応として日立駅東側の交通基盤整備が必要である。
- ・日立駅の自転車駐輪台数は約800台にも上るが、駐輪スペースが約300台しかなく、西口交通広場に溢れている状況である。
- ・日立市には、海・山の自然、多様なイベント、産業都市としての歴史・文化などの魅力ある交流資源があるが生かききれていない。これらの資源を連携させて活発な交流を育むため、交流の起点としての情報発信機能の拡充が必要である。
- ・日立駅は、年間約800万人もの人が利用する駅であるため、市民生活の利便性を高められる様な付加機能を併設することも交通結節点として重要なことであり多くの市民からも求められている。

○まちの顔としてのイメージ

- ・日立駅及びその周辺は、まちの玄関口としてのイメージ向上を図ることが課題であり多くの市民からその対応を求められている。
- ・日立駅周辺においては、これまで日立駅前開発整備事業や西側の駅前広場の改修により都市拠点としての機能強化とデザイン向上を図ってきた。今後も、残された日立駅及び日立駅東側地区も含めた一体的な空間としての景観形成が課題となっている。

○日立市基本構想

日立地区の目標像を「日立市の顔となる広域に開かれた交流拠点地区」と定めている。具体的には日立駅前地区を核として、周辺地区の産業、観光、教育、文化、スポーツ、中枢管理等の既存の機能集積の有効活用と、更に都心居住のための住宅など不足している都市機能の整備を進めることによって、多様で活発な交流が行われる魅力ある街づくりを進め、日立市の顔として広域に開かれ、様々な情報を発信できる交流拠点を形成するとしている。

○日立市基本計画

交通結節点の機能強化及び魅力ある都市景観形成(まちの顔づくり)として、日立駅舎改築に取り組むこととしている。

○日立市都市計画マスタープラン

交流を育む魅力と賑わいづくりのため、都市の顔となる中心市街地において、賑わいがあり交流を育めるような魅力ある都市づくりを進めるとしている。具体的には、日立駅舎及び駅前広場の改修や都市の顔としての魅力を高めていくこととしている。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(日立駅東西の一体化と都市拠点としての魅力向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立駅を挟んでバリアフリー化に対応した自由通路を整備し、西側の賑わいと東側の海の魅力を融合させ、駅東地区と駅西地区の一体化を図り、自由通路東西口の施設整備と併せて、厚みと奥行きのある市街地整備を行う。 ・自由通路は清水鮎川線を跨いで東口駅前広場に連絡させ、その先端には、海への眺望を生かした心地よい滞留空間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日立駅自由通路新設 ・東口交流支援施設整備 ・日立駅周辺地区空間設計及びデザイン監修 ・日立駅周辺地区整備事業化検討調査
<p>整備方針2(交通結節点・交通起点の機能強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由通路整備に併せて駅舎を橋上化し、改札とホームとの移動距離を短縮させるとともに、自由通路には動く歩道を設置し移動の負担を軽減させる。 ・自由通路及び橋上駅舎には、エレベーター・エスカレーターを設置してバリアフリー化を図る。 ・駅舎橋上化に際し、駅利用者の利便性を高め駅前広場の機能向上を図るため、自由通路東口に交通広場を移設するとともに、西口の交通広場を改修する。 ・日立バイパスと日立駅東口を結ぶ清水鮎川線について、自動車と歩行者の交通量増加に対応する拡幅整備を行うと共に、日立駅東口の先線については、舗装改修を行う。 ・日立バイパスのアクセス道路として市道2968号線を新設し、日立駅東口へのアクセスの利便性を向上させる。 ・これらの整備にあたり、交通結節点及び交流起点としての使いやすさを高めるため、ユニバーサルデザイン化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日立駅橋上駅舎新設 ・日立駅自由通路新設 ・清水鮎川線改良事業 ・清水鮎川線(市道17号線)道路改良 ・市道2968号線新設 ・日立駅東口交通広場整備 ・日立駅西口交通広場整備 ・日立駅周辺地区空間設計及びデザイン監修
<ul style="list-style-type: none"> ・駅利用者の端末交通として自転車利用が増加傾向にあり、環境問題などの対応なども踏まえ、将来需要を見込んだ駐輪場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場整備
<ul style="list-style-type: none"> ・活発な交流を育む起点としての観光案内やイベント情報などを発信する機能、市民の様々な活動を支援する機能などを有する施設を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)日立駅都市サービス施設整備 ・日立駅周辺地区整備事業化検討調査
<p>整備方針3(まちの顔(玄関口)としてのイメージ向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの顔(玄関口)としての魅力を高めるため、デザイン性に配慮した施設整備を図る。 ・多くの人が利用する場所であり、居心地の良い雰囲気や賑わいの感じられる空間づくりを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日立駅橋上駅舎新設 ・日立駅自由通路新設 ・東口交流支援施設整備 ・日立駅東口交通広場整備 ・日立駅西口交通広場整備 ・清水鮎川線改良事業 ・駐輪場整備 ・(仮称)日立駅都市サービス施設整備 ・日立駅周辺地区空間設計及びデザイン監修 ・日立駅周辺地区整備事業化検討調査
<ul style="list-style-type: none"> ・海に近いという地区特性(海への眺望など)を都市拠点としての厚みのある魅力づくりに生かす。 ・東側市街地については、街区道路の改良や高質化整備などにより、回遊性の向上と都市空間の連続性を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日立駅自由通路新設 ・日立駅東口交通広場整備 ・生活道路(市道3226号線外7路線)高質化整備 ・市道3231号線道路改良 ・市道3230号線道路改良 ・市道3227号線道路改良 ・市道3226号線道路改良 ・市道3228号線道路改良 ・市道3229号線道路改良
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民団体等と行政の連携によるまちづくりの方策について 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	6,874	交付限度額	2,703.3	国費率	0.393
---------	-------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路			清水鮎川線	日立市	直	317m	H17	H22	H18	H22	678	678	678	0	678
			清水鮎川線(市道17号線)	日立市	直	192m	H20	H20	H20	H20	22	22	22	0	22
			市道2968号線	日立市	直	670m	H19	H19	H19	H19	51	43	43	0	43
			市道3231号線	日立市	直	284m	H20	H22	H20	H22	92	92	92	0	92
			市道3230号線	日立市	直	185m	H21	H21	H21	H21	18	18	18	0	18
			市道3227号線	日立市	直	65m	H21	H21	H21	H21	4	4	4	0	4
			市道3226号線	日立市	直	42m	H22	H22	H22	H22	4	4	4	0	4
			市道3228号線	日立市	直	42m	H22	H22	H22	H22	2	2	2	0	2
			市道3229号線	日立市	直	116m	H22	H22	H22	H22	7	7	7	0	7
公園															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設			日立駅東口交通広場	日立市	直	約2,700㎡	H17	H22	H18	H22	741	741	741	0	741
			日立駅西口交通広場	日立市	直	4,800㎡	H22	H22	H22	H22	423	423	423	0	423
			駐輪場(西口・東口)	日立市	直	西口:1013㎡ 東口:57㎡	H22	H22	H22	H22	258	258	258	0	258
高質空間形成施設			市道3226号線外7路線	日立市	直	39基	H18	H22	H20	H22	39	39	39	0	39
高次都市施設			(仮称)日立駅都市サービス施設	日立市	直	257㎡	H20	H22	H20	H22	146	146	146	0	146
			日立駅自由通路	日立市	直	L=143m	H16	H22	H18	H22	2,389	2,389	2,389	0	2,389
既存建造物活用事業															
都市再生交通拠点整備事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業			拠点開発型												
			沿道等整備型												
			密集住宅市街地整備型												
			耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										4,874	4,866	4,866	0	4,866	

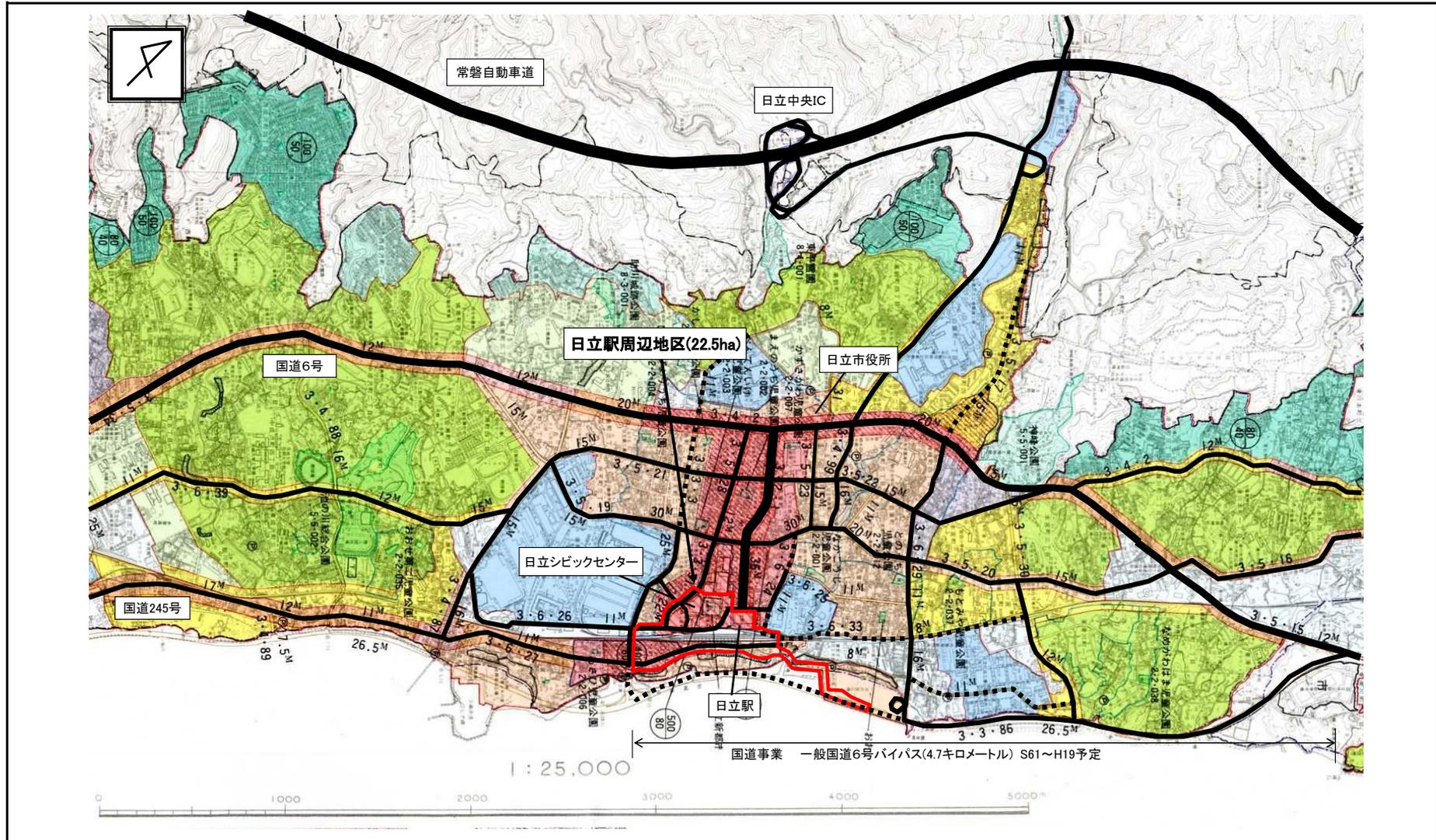
提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業			日立駅橋上駅舎新設	日立市・JR東日本	直	約1,800㎡	H16	H22	H18	H22	2,154	2,154	1,764	390	1,764
			東口交流支援施設	自由通路東口交流支援施設	日立市	直	A=212㎡	H16	H22	H20	H22	212	212	212	0
事業活用調査			日立駅周辺地区空間設計及びデザイン監修	日立市	直	—	H18	H18	H18	H18	26	26	26	0	26
			日立駅周辺地区整備事業化検討調査	自由通路東西の交流支援施設	日立市	直	—	H18	H18	H18	H18	6	6	6	0
まちづくり活動推進事業															
合計										2,398	2,398	2,008	390	2,008	

(参考)関連事業	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
						直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
街路事業	堀込田手沼線	日立市	国土交通省	1.080m		○			H20	H24	540	
街路事業	堀込所沢線	日立市	国土交通省	660m		○			H20	H24	330	
国道事業	国道6号日立バイパス	—	国土交通省	4,700m	○				S61	H19	52,000	
交通安全施設等整備事業	清水鮎川線(市道17号線)	日立市	国土交通省	255m		○			H22	H22	28	
合計											52,898	

合計(A+B) 6,874

都市再生整備計画の区域

日立駅周辺地区(茨城県日立市)	面積 22 ha	区域 旭町2丁目の全部と旭町1丁目、幸町1丁目、幸町2丁目、東町3丁目の一部
-----------------	-------------	---



日立駅周辺地区(茨城県日立市) 整備方針概要図

目標	交通結節点及び交流起点としての機能強化、まちの顔としての魅力の向上、日立駅を挟む東西市街地の連携と賑わいづくりに取り組み、さらなる都市拠点性の強化と交流人口の拡大を図る。	代表的な指標	都市拠点としての満足度 (%)	12 (17年度) →	50 (22年度)
			交通結節点及び交流起点としての満足度 (%)	5 (17年度) →	50 (22年度)
			まちの魅力についての満足度 (%)	5 (17年度) →	50 (22年度)

